

Ⅲ 学年ごとの特徴と具体策

「Ⅱ 提言」では、各学年に共通することをもとに「7つの提言」を行いました。

本章では、子どもの発達に着目し、調査対象の各学年について、子どもの行動や意識の大きな「特徴」を示すとともに、子どもの生活を向上させるために大人が働きかけるべき「具体策」を、箇条書きでまとめました。これらは「7つの提言」を、子どもの発達に応じてより具体的に、重要なものから順に示したものです。

子どもの生活を向上させるために、是非お役立てください。

説明 因子分析と重回帰分析

「学年ごとの特徴」と指導に関する「学年ごとの具体策」を明らかにするために、因子分析と重回帰分析という方法を用いました。ここでは、これらの方法について簡単に説明します。

因子分析

「因子分析」とは、ある調査項目の結果(例:「勉強に意欲的である」)に影響を与えているいくつかの要因(因子)を明らかにして、因子が「主要な項目」それぞれに与えている影響(因子負荷量)をもとにして、解釈を考察する分析です。

(1) 主要な項目

表1は、因子分析結果の一部です。因子分析によって、因子に影響を与える大きさを示す「因子負荷量」の高い項目を順に並べることによって「主要な項目」がまとめられます。

(2) 因子名

この「主要な項目」のまとまりに影響を与えている共通の原因を考え、名前をつけます。本調査では、表1の因子1に『自尊感情』という名前を付けました。同様に因子2は『家庭学習』とするなど、すべての因子それぞれに名前を付けます。

※表1は、部分を示したもので、完全に掲載されているのは、因子2までです。

表 1

小5 因子分析結果	因子				
	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4	因子 5
保護者は私を考えてくれる	.621	.008	-.006	-.080	-.195
保護者に褒められる	.595	.048	-.051	.030	-.261
やればできる	.552	.072	-.101	.147	-.070
今の勉強は将来大切になる	.471	.093	.061	.275	-.041
よいところがある	.447	.122	.039	.224	-.116
勉強に意欲的である	.441	.206	.021	.393	-.063
意見が違っても保護者は傾聴する	.439	-.007	-.038	.063	-.235
生活が楽しい	.430	-.034	-.003	.103	-.387
就きたい仕事ある	.426	.101	-.068	.035	.119
読書は大切である	.421	.165	.019	.349	.074
将来の夢がある	.419	.022	-.043	.014	.077
月から木勉強時間長い	.050	.784	.002	.169	.012
休日前勉強時間長い	.097	.634	.037	.221	.029
休日勉強時間長い	.056	.563	.058	.272	.004
携帯電話の時間が短い	-.017	-.033	.882	.004	-.082
携帯電話を所持していない	-.017	.014	.810	.015	-.010

表 2

従属変数: 大人への信頼	β	有意確率
賞賛	.332	.000
傾聴	.269	.000
納得できる指導	.100	.007

調整済み R2 乗=.302

(1) 従属変数と独立変数

原因と結果(因果関係)のうち、結果となる項目を「従属変数」、原因となる項目を「独立変数」といいます。つまり、回帰分析で原因を見つけようとする項目が従属変数で、原因として仮定された項目が独立変数となります。表2は、本調査で行った分析の一部です。「大人への信頼」の原因を分析したので、「大人への信頼」が従属変数となります。また、「賞賛」、「傾聴」、「納得できる指導」の3つが、5%水準(有意確率<.05)となっており、有意となった独立変数であることを示しています。つまり、この3つが「大人への信頼」の有意な原因と考えられます。

(2) β 値

β 値は、分析により導き出された原因の程度を、数値で示したものです。表2では、「大人への信頼」の有意となる原因の3つのうち、「賞賛」が最も原因としての影響が大きいことを示しています。

(3) R2乗(説明率、決定係数)

R2乗は、独立変数が従属変数を説明している程度を示しています。表2では、「賞賛」、「傾聴」、「納得できる指導」の3つが、「大人への信頼」の全体としての原因の3割程度(=0.302)説明できることを表しています。と同時に、これらがすべての原因ではなく、あと7割はそのほかの理由があることも示しています。

重回帰分析

1 学年ごとの特徴

(1) 相関関係の大きなまとまり (因子)

各学年の子どもの回答の相関関係の大きなまとまりを、因子分析により調べ、まとまりごとに名称をつけました。たとえば、家庭学習という名称をつけた相関のまとまりを以下『家庭学習』と表記します(他も同様)。表は学年別に、まとまりを整理したものです。

学年別 相関関係の大きなまとまり

学年	まとまり1	まとまり2	まとまり3	まとまり4	まとまり5	まとまり6
小2	自律生活	家庭学習		不安		
小5	自律生活	家庭学習	自尊感情	不安	携帯少	
中2		家庭学習	自尊感情	不安	携帯少・ゲーム少	将来展望
高2	早寝	家庭学習	自尊感情	不安	ゲーム少	将来展望

(2) 因子相互の関係

学年別に、因子の相互関係とその程度を調べました。これを示したのが右図です。

(3) 各学年の子どもの特徴

以上から考えられる子どもの特徴と指導のポイントは以下のとおりです。

① 小学校第2学年

『家庭学習』と『自律生活』には強い関係があります。

この学年では、規則正しい自律的な生活をさせていく中で、家庭学習の習慣を身に付けていくこと、不安を軽減することが重要であると考えられます。

② 小学校第5学年

『自律生活』と『自尊感情』には強い関係があります。

この学年では、規則正しい自律的な生活をさせていく中で、家庭学習の習慣を身に付けさせながら自尊感情を高めるとともに、不安を軽減させるようにすることが重要であると考えられます。

③ 中学校第2学年

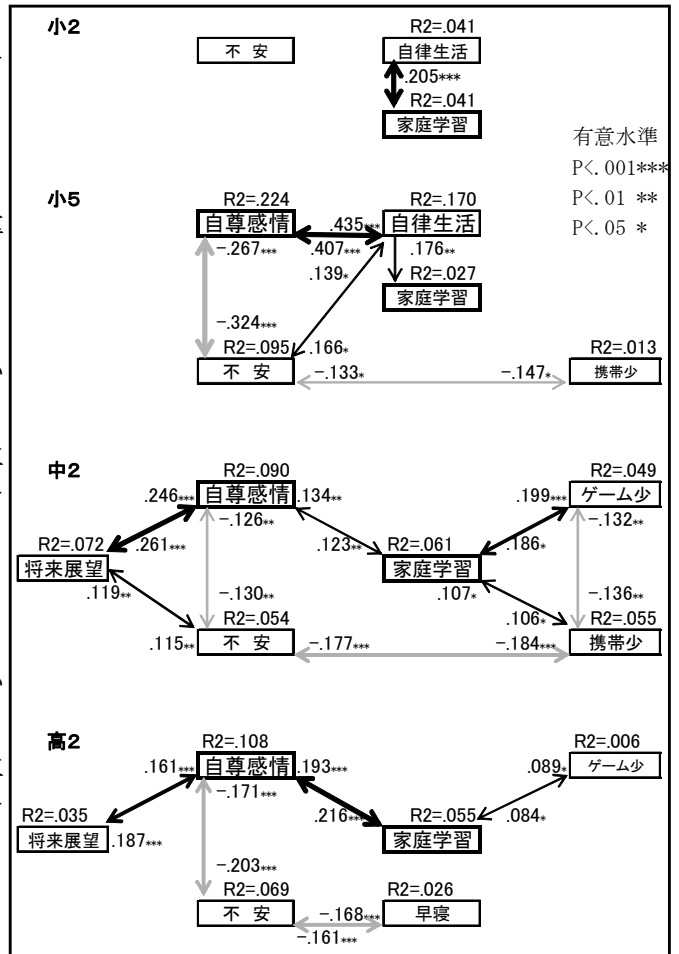
『自尊感情』と『将来展望』、『家庭学習』と『ゲーム少』は強い関係があります。

この学年では、ゲームや携帯電話の利用時間を短くさせるなどして、家庭学習に取り組ませるとともに不安を軽減すること、家庭学習の向上と不安の軽減などによって自尊感情を高めること、自尊感情を高めるなどして、将来を展望できるようにさせていくことが重要であると考えられます。

④ 高等学校第2学年

『自尊感情』と『家庭学習』、『自尊感情』と『将来展望』は強い関係があります。

この学年では、ゲームの使用時間を短くするなどして家庭学習に取り組ませること、不安を軽減したり家庭学習を向上させるなどして自尊感情を高めること、自尊感情を高めるなどして将来を明確に展望させていくことが重要であると考えられます。



2 学年ごとの具体策

子どもの生活を向上させるための具体策

小学校 下学年用

家庭学習、自律的な生活、不安の軽減が指導のポイントです。

この具体策は、小学校第2学年の行動や意識に影響を与えている主なものを分析し、大人の働きかけとして整理したもので、対象学年全体として重要なことを順に示しました。働きかける子どもにとって何が必要かを考えた上で、指導の参考にしてください。

1 家庭学習をきちんとさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 毎日の家庭学習を習慣づけさせること
- (2) 家庭学習をするように指導すること
- (3) 読書を多くさせること

2 お腹や頭が痛くならないようにさせることが重要です。

そのために大切なのは大人が

- (1) 時間を上手に使う工夫をさせること
- (2) 授業を話題にすること
- (3) 授業を分かるようにさせていくこと

3 すっきり目覚めさせるようにしていくことが重要です。

そのために大切なのは大人が

- (1) 自分で起床するように言うこと
- (2) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること
- (3) 早く寝るようにさせること
- (4) 分担した仕事を多くすること

4 就寝時刻を一定にさせることが重要です。

そのために大切なのは大人が

- (1) 早く寝るようにさせること
- (2) 自分には良いところがあると思わせていくこと
- (3) 夕食の時刻を一定にすること
- (4) テレビ等をみる時間を少なくさせること

5 授業を分かるようにさせていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 読書を大切であると思わせていくこと
- (2) 毎朝朝食を食べさせること
- (3) 自分には良いところがあるという自信をもたせること
- (4) 自分で起床させること
- (5) 夕食の時刻を一定にすること

- (6) 授業を話題にすること
- (7) 子どもの話を聴くこと
- (8) 正しい言葉遣いをさせること
- (9) テレビの視聴時間を短くさせること

6 自分で起床させることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること
- (2) 分担した仕事をさせること
- (3) 放課後友人と遊ぶようにさせること

7 早く寝る生活をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 早く寝るように指導すること
- (2) 夕食の時刻を早くすること
- (3) 子どもの話を聴くこと
- (4) 夕食の時刻を一定にすること

8 自分の部屋の掃除をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 部屋の掃除をさせること
- (2) 分担した仕事を多くすること
- (3) 自分で起床させること
- (4) 授業を分かるようにさせていくこと
- (5) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること

9 読書を大切だと思わせていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 授業を分かるようにさせていくこと
- (2) 分担した仕事を多くすること
- (3) 読書を多くさせること
- (4) 授業を話題にすること
- (5) 家の決まりを守らせること

10 「自分には良いところがある」という自信をもたせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 朝、家族にあいさつできる生活をさせること
- (2) 授業を分かるようにさせていくこと
- (3) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (4) 自分のことは自分でやらせること

自尊感情、家庭学習、自律的な生活、不安の軽減が指導のポイントです。

この具体策は、小学校第5学年の行動や意識に影響を与えている主なものを分析し、大人の働きかけとして整理したもので、対象学年全体として重要と思われることを順に示しました。働きかける子どもにとって何が必要かを考えた上で、指導の参考にしてください。

1 携帯電話を所持しない生活をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 携帯電話を所持させないこと
- (2) 早く寝させること

2 意欲的に学習させることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 授業を分かるようにさせていくこと
- (2) 時間を上手に使う工夫をせること
- (3) 良いところがあるという自信をつけさせること
- (4) 授業を話題にすること
- (5) 単に学習しなさいという一方的な指示を控えること
- (6) 今の学習が将来大切になることを子どもに話すこと

3 毎日の家庭学習を習慣づけさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 意欲的に学習させること
- (2) 読書を多くさせること
- (3) 家の決まりを守らせること
- (4) 適切な学習時間を提示し学習させること

4 「みんな私を嫌っている」「誰も私を大切にしてくれない」という不安を軽減させることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (2) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (3) 信頼できる友人ができるようにしていくこと
- (4) 自分には良いところがあると思わせていくこと

5 「自分には良いところがある」「やればできる」という自信をもたせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 意欲的に学習させること
- (2) 今の学習が将来大切になることを子どもに話すこと
- (3) 就きたい仕事があると思わせていくこと
- (4) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること

- (5) 子どもが納得できる指導をすること
- (6) 時間を上手に使う工夫をさせること

6 今の学習は将来大切になると思わせていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 今の学習は将来大切になることを話すこと
- (2) 読書を大切だと思わせていくこと
- (3) 意欲的に学習させること
- (4) やればできるという自信をつけさせること
- (5) 将来の夢をもたせること
- (6) 毎日の家庭学習を習慣づけさせること
- (7) 単に学習しなさいという一方的な指示は控えること

7 大人がいなくても決まりを守らせるようにしていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 時間を上手に使う工夫をさせること
- (2) 家の決まりを守らせること
- (3) 意欲的に学習させること
- (4) 読書を大切と思わせていくこと
- (5) 意見が違っても、子どもの話に耳を傾けること

8 読書を大切だと思わせていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 読書を勧め、読書を多くさせること
- (2) 今の学習は将来大切になることを話すこと
- (3) 時間を上手に使うに工夫をさせること
- (4) ゲームの使用時間のルールを守らせること
- (5) 子どもと学習計画を立てるなど、学習の支援をすること
- (6) 大人がいなくても決まりを守らせるようにしていくこと

9 子どもを褒めることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (2) 意見が違っても子どもの話に耳を傾けること
- (3) 家の決まりを守らせること

10 時間を上手に使うに工夫をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 大人がいなくても決まりを守らせるようにしていくこと
- (2) 意欲的に学習させること
- (3) 単に学習しなさいという一方的な指示を控えること
- (4) 分担した仕事をさせること
- (5) 子どもが納得できる指導をすること
- (6) 今の学習が将来大切になることを子どもに話すこと

自尊感情、携帯電話、不安の軽減、家庭学習、将来展望、ゲームが指導のポイントです。
この具体策は、中学校第2学年の行動や意識に影響を与えている主なものを分析し、大人の働きかけとして整理したもので、対象学年全体として重要なことを順に示しました。働きかける子どもにとって何が必要かを考えた上で、指導の参考にしてください。

1 毎日適切な時間、家庭学習をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 家庭学習を習慣づけさせ、適切な学習時間を提示して、学習させること
- (2) 意欲的に学習させること
- (3) テレビの視聴時間、ゲームの使用時間を短くさせること
- (4) 読書を大切だと思わせていくこと

2 携帯電話を所持しない生活をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) みんな私を嫌っているという不安を軽減させること
- (2) 自分には良いところがあるという自信をつけさせること
- (3) 携帯電話を所持させるか否か、子どもへの干渉と考えずに、責任ある大人として判断すること

3 就きたい仕事や将来の夢があるように働きかけていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) テレビの視聴時間を短くさせること
- (2) 授業を話題にすること
- (3) やればできるという自信をつけさせること
- (4) 意欲的に学習させること

4 「自分には良いところがある」「やればできる」という自信をつけさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (2) 意欲的に学習させること
- (3) 携帯電話を所持させないこと、テレビやビデオの使用時間を短くさせること
- (4) 時間を上手に使う工夫をさせること
- (5) 将来の夢を抱かせること
- (6) テストの点数を確認すること
- (7) 今の学習は将来大切なことを話すこと

5 ゲームの使用時間を短くさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) ゲームの使用時間のルールを守らせること
- (2) テストの間違いを直させるようにすること
- (3) 適切な学習時間を提示して、学習させること

- (4) 自分で起床させること
- (5) 自分の部屋の掃除をさせること

6 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 意見が違って子ども話に耳を傾けるようにすること
- (2) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (3) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること
- (4) 家の決まりやゲームの使用時間のルールを守らせること
- (5) 子どもと共に活動したり、子どもの活動を見に行くこと
- (6) 乱暴な言葉を使わないような生活をさせること

7 「大人は私のことを考えてくれている」と子どもが信頼するように働きかけることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (2) 意見が違って子ども話に耳を傾けること
- (3) 誰も私を大切にしてくれないという不安を軽減すること

8 「みんな私を嫌っている」「誰も私を大切にしてくれない」という不安を軽減させることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (2) 自分には良いところがあるという自信をつけさせること
- (3) 信頼できる友人ができるようにしていくこと
- (4) 子どもと活動したり、子どもの活動を見に行くこと
- (5) 意見が違って子ども話に耳を傾けること
- (6) 子どもの友人関係を把握すること
- (7) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること

9 意見が違って子ども話に耳を傾けることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (2) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (3) 家の決まりを守らせること
- (4) 子どもが納得できる指導をすること
- (5) 子どもの学習に関わりながら、子どもと話をすること

10 信頼できる友人ができるように働きかけていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 時間を上手に使う工夫をさせること
- (2) 意見が違って子ども話に耳を傾けること
- (3) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること
- (4) 子どもと活動したり、子どもの活動を見に行くこと

家庭学習、不安の軽減、自尊感情、将来展望、ゲームが指導のポイントです。

この具体策は、高等学校第2学年の行動や意識に影響を与えている主なものを分析し、大人の働きかけとして整理したもので、対象学年全体として重要なことを順に示しました。働きかける子どもにとって何が必要かを考えた上で、指導の参考にしてください。

1 「みんな私を嫌っている」「誰も私を大切にしてくれない」という不安を軽減させることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (2) やればできると思わせていくこと
- (3) 時間を上手に使う工夫をさせること
- (4) 自分には良いところがあると思わせていくこと
- (5) 信頼できる友人ができるようにしていくこと

2 毎日適切な時間、家庭学習をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 適切な学習時間を提示し、毎日学習させること
- (2) 意欲的に学習させること
- (3) 携帯電話、テレビやビデオ、ゲームの使用時間を短くさせること
- (4) 学校の奉仕活動に参加するなど、主体的に学校と関わること
- (5) 単に学習しなさいという一方的な指示を控えること
- (6) 子どもの教育にとって家庭の影響は大きいと考えること

3 ゲームの使用時間を短くさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) ゲームの使用時間のルールを守らせること
- (2) 信頼できる友人ができるようにしていくこと
- (3) 適切な学習時間を提示し、学習させること
- (4) 将来の夢を抱かせること
- (5) 今の学習は将来大切なことを話すこと

4 就きたい仕事や将来の夢があるように働きかけていくことが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 友人を大切にするように言うこと
- (2) 今夢中になれることを見つけさせること
- (3) ゲームをする日を少なくすること
- (4) 子どもを褒めること

5 意欲的に学習させることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 授業を分かるようにさせていくこと
- (2) 毎日適切な時間、家庭学習をさせること
- (3) 今の学習が将来大切になることを話すこと
- (4) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (5) 時間を上手に使う工夫をさせること
- (6) 携帯電話やテレビの使用時間を短くさせること

6 早く寝て、すっきり目覚める生活をさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 自分で起床させること
- (2) 携帯電話、パソコンの使用時間を短くさせること
- (3) 毎朝朝食を食べさせること
- (4) 意欲的に学習させること

7 子どもを褒めることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 自分のことを考えてくれていると思わせていくこと
- (2) 意見が違っても子どもの話に耳を傾けること
- (3) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること
- (4) 意欲的に学習させること
- (5) ゲームの使用時間のルールを守らせること

8 「大人は私のことを考えてくれている」と子どもが信頼するように働きかけることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (2) 意見が違っても子どもの話に耳を傾けること
- (3) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること
- (4) 子どもが納得できる指導をすること

9 意見が違っても子どもの話に耳を傾けることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 自分のことを考えてくれているという信頼感をもたせること
- (2) 子どもが褒めてほしいと思っていることを褒めること
- (3) 子どもが納得できる指導をすること
- (4) 朝、家族にあいさつできるような生活をさせること

10 携帯電話の使用時間を短くさせることが重要です。

そのために大切なのは、大人が

- (1) 適切な学習時間を提示し、学習させること
- (2) 早く寝るように指導すること
- (3) テレビやビデオの使用時間を短くさせること
- (4) 子どもの教育にとって家庭の影響は大きいと考えること
- (5) 学校の奉仕活動に参加するなど、主体的に学校と関わること